

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 本器具は天井しか付け専用です。壁や傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

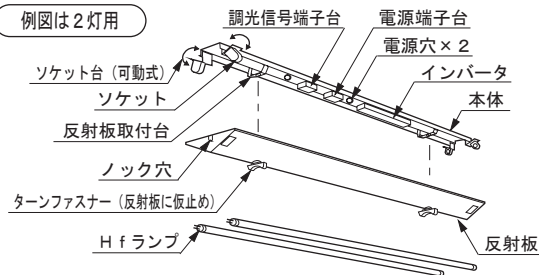
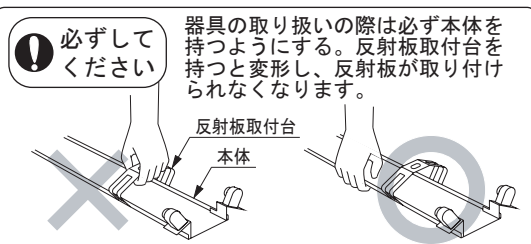
注意

- 本器具は当社専用信号線方式の制御装置と組み合わせてご使用ください。動作不良や不点灯の原因となります。
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気が多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・風などが直接あたる場所・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となることがあります。
- 絶縁抵抗試験は、必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し、不点灯の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災・不点灯の原因となることがあります。

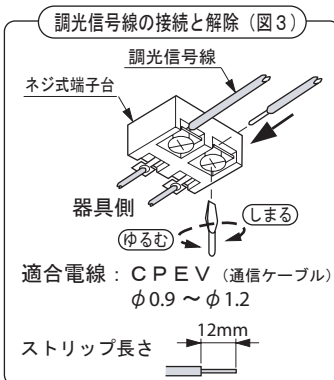
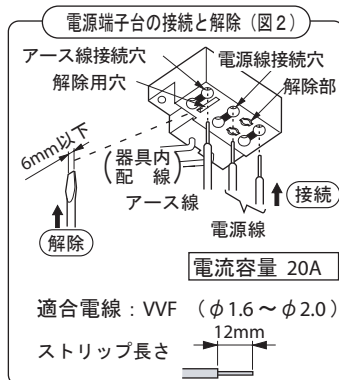
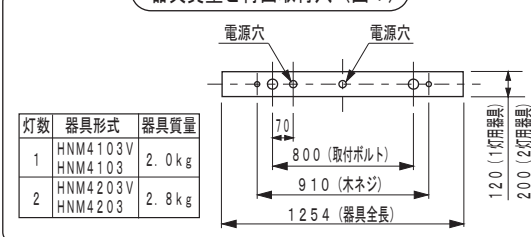
各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

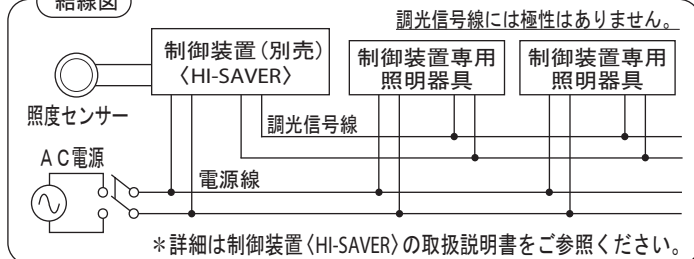
- 天井にあらかじめ(図1)の寸法で、器具質量に十分耐える強度の取付ボルトを用意する。
 - 取付ボルトの出代は本体より35mm以下にしてください。
ボルトが出すぎると、反射板が取り付けられなくなります。
- 本体の電源穴(ブッシュ付)から、電源線・アース線・調光信号線を引き込み、本体を取付ボルト、または木ネジにて確実に取り付ける。
 - 取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。
 - 器具を連結して使用する場合は、(図5)・(図6)にしたがい器具を取り付ける。
 - 木ネジで取り付ける場合は、強度的に十分な補強のある天井面に取り付ける。
- 電源線・アース線を指定された長さにストリップし、電源端子台の接続穴の底まで確実に差し込む。(図2)
 - 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。
[電源端子台の電流容量は20Aです。]
 - アースは電源端子台のアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。
 - 電源線を再接続する場合は、幅6mm以下のドライバーを解除部(アース線は○ドライバーを解除用穴)に押し込み、電源線を引き抜きます。
- 調光信号線を調光信号端子台に接続する。(図3)
 - 調光信号端子台の送り台数と送り配線は、別売の制御装置に同梱の取扱説明書にしたがい行ってください。
- 電源線・アース線・調光信号線を引っ張り接続の確認をする。
- 反射板を(図4)にしたがい確実に取り付け、Hfランプを取り付ける。
 - 取り付けに不備がありますと反射板、Hfランプの落下の原因となります。
- 工場完了時にHfランプが正常に点灯するか確認する。

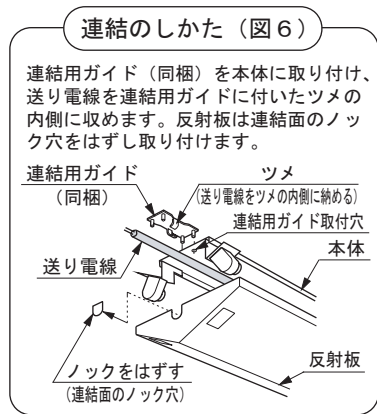
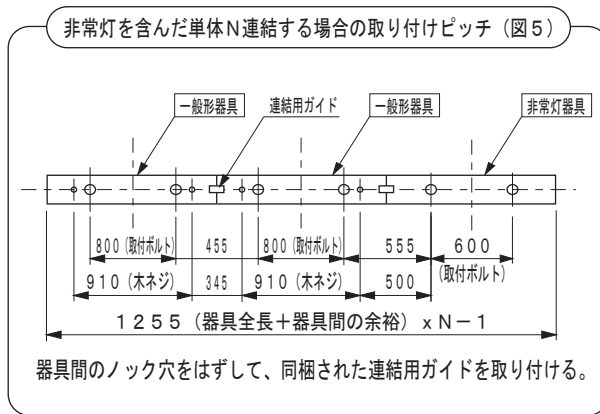
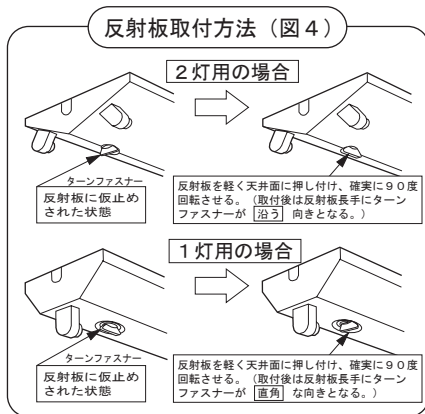


器具質量と背面取付穴(図1)



結線図





取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災の原因となります。
- お手入れやランプ交換は、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。

注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取り外しての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工務店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

使用上のご注意

- 電波の弱い場所(山間部・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビ等を使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

お手入れ・ランプ交換

必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- ランプの交換時期は別売の制御装置の取扱説明書にしたがってください。(ランプ寿命を過ぎたまま使用しますと、明るさが落ちるだけでなく器具の寿命も低下させますので、新しいHfランプとお取り替えください。)

禁止	みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。	点灯中や消灯直後10分間は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。
必ずしてください	ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。 この器具はHfランプ専用です。ランプ交換の際には右のマークのついた高周波点灯専用ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・器具の破損の原因となります。 適合ランプ Hfランプ(高周波点灯専用ランプ) FHF32	お手入れなどでランプをはずし、再度取り付けの場合は、ランプを確実に取り付けしてください。取り付けに不備がありますと、落下してけが・物損の原因となります。 Hf

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、電子安定器は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店(工務店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。